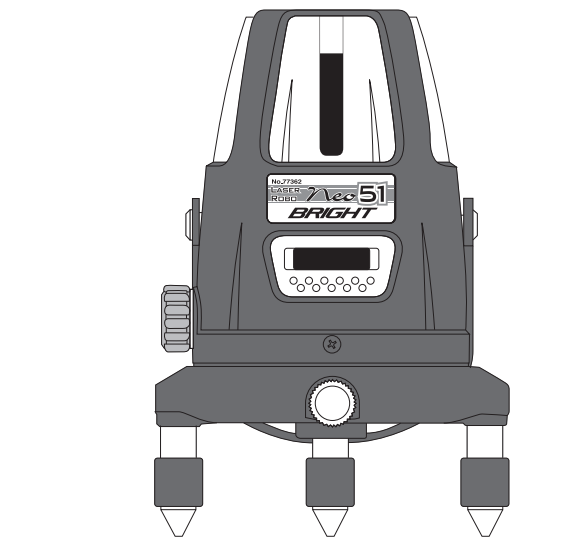




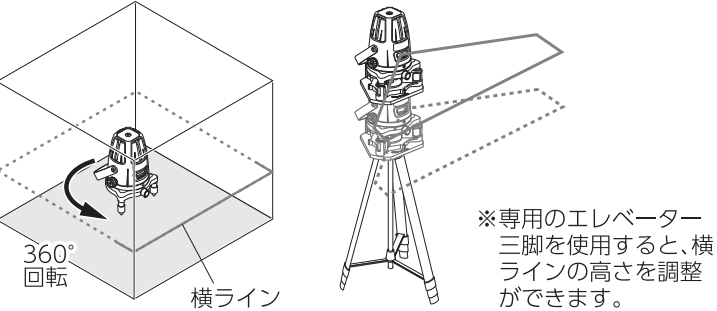
取扱説明書
レーザーロボ ネオ ブライト
(品番：77362/77361/77360/77355/77354/77389/77388)



この取扱説明書は必ず保管してください。

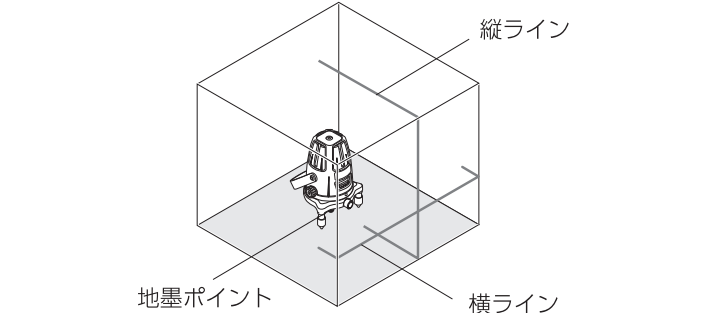
① モードの使用方法

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにすると①モードになり、横ラインが照射されます。
- ③本体回転機構を利用することで、全周(360°)の水平が出せます。



② モードの使用方法

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにして上面パネルの②を押すと、正面縦ライン・横ライン・地墨ポイントが照射されます。



■アフターサービス

故障かな?と思ったら…
修理をご依頼される前に、下記を参考に確認してください。
下記の方法でも解決できない場合は「保証規定(無償修理および盗難・火災補償)」をご確認の上、シンワサービスセンター宛にご連絡ください。

トラブル状況	確認事項
レーザー光が出ない	●電池はあるか? →新しい電池を入れてください ●電池の入れ方は正しいか? →+-を間違えていないかを確認してください
衝撃を与えてしまった	■使用前の点検(精度確認)を行ってください

末永くご利用いただくために

シンワ「レーザーロボ グリーン Neo BRIGHT」は精密機器です。
精度維持および末永くご使用いただくために、シンワサービスセンター宛に年1回の定期点検(有料)をご依頼くださることをおすすめします。

Shinwa Service System [シンワサービスシステム]

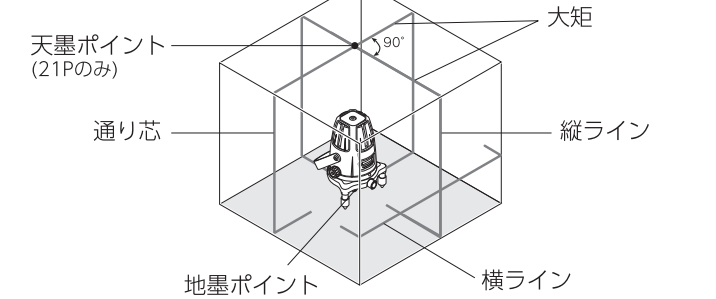
修理や検査はシンワサービスセンター(TELまたはFAX)にご依頼ください。
ヤマト運輸が引き取りに伺います。



※レーザー・光学機器の部品保有期間は廃番後3年間となります。それ以降は在庫がなくなり次第、もしくは廃番後5年経過したものから提供終了とさせていただきますのでご了承ください。

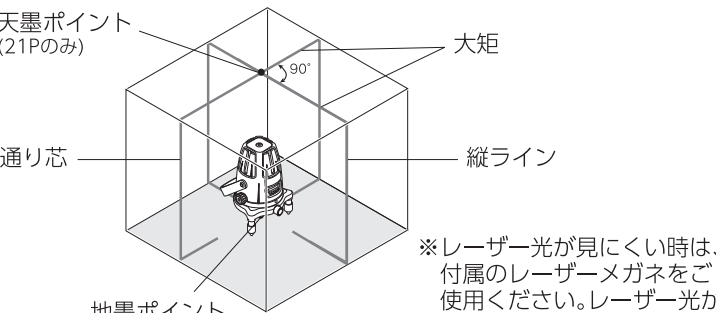
② フル照射モードの使用方法(51、41、31、21Pのみ)

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにして上面パネルの②を1秒以上長押しすると、全ての縦ライン・横ライン・地墨ポイント・天墨ポイント(21Pのみ)が照射されます。



③ モードの使用方法(図は51の場合)

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにして上面パネルの③を押すと、全ての縦ライン・地墨ポイント・天墨ポイント(21Pのみ)が照射されます。



はじめに

シンワ「レーザーロボ Neo BRIGHT」シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いいただく前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後も大切に保管してください。
製品梱包に貼付されている「保証規定(無償修理および盗難・火災補償)」をよくお読みの上、「保証書・ユーザー登録シート」にお買い上げ店名の記入があることを確認し、必要事項を記入して、シンワサービスセンターへFAXまたはコピーを郵送してください。
「保証規定(無償修理および盗難・火災保証)」と「保証書・ユーザー登録シート(お客様(控))」は大切に保管してください。
ご不明な点がございましたら、シンワサービスセンターまでお問い合わせください。

■特長

- 縦ライン・横ライン・地墨ポイントをレーザー光で照射します。
- レーザー光の明るさは従来品のおよそ2倍です。(当社比)
- 防塵・防水構造(保護等級IP54)のため、粉塵や水の飛沫による故障の心配がありません。
- 付属の水平調整三脚アダプターを使用することで、三脚への取り付けが簡単にでき、三脚に取り付けた状態でも本体の水平出しが可能になります。
- 2.5°以内の傾きなら自動補正されます。
- 専用の受光器を使用することで、屋外などのレーザーラインが見えにくい場所での使用も可能になります。
- 過剰な明るさのレーザー発光を抑える保護回路搭載で安心です。

■使用方法

- ①電池フタ止ネジを緩めて電池フタを開け、単3アルカリ乾電池を4本、正しく入れてください。電池フタ止ネジはしっかり締めてください。
- ②円型気泡管の気泡が赤い円内に入るように、水平調整脚で調整し、本体の水平出しを行ってください。
※気泡全体が赤い円内に入れば、円の中心でなくても自動補正機構が働きます。自動補正範囲外では1秒間隔でレーザー光が点滅します。
- ③電源スイッチを回してONにしてください。自動補正機構のロックが解除され、正面横ラインが照射されます。(円型気泡管のLED照明が点灯します。)
- ④上面パネルで、使用するレーザー照射モードを選択してください。

△ 注 意

保管・運搬時のご注意

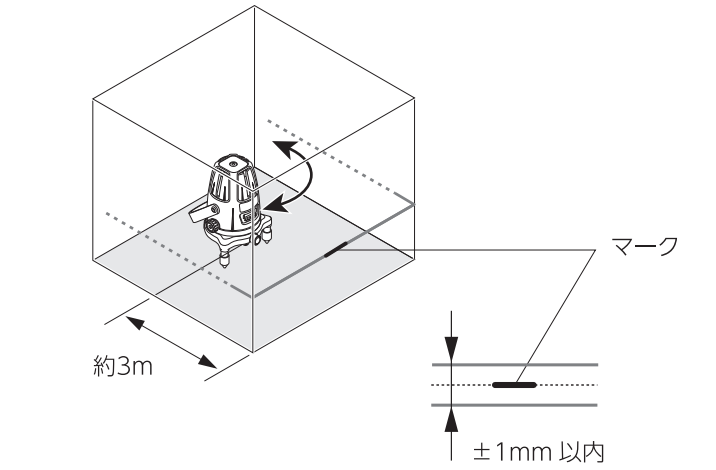
- 絶対に分解しないでください。故障・感電の原因となります。
- 本製品を持ち運ぶ時やご使用後は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。OFFにすることで自動補正機構が同時にロックされます。
- 使用後は水平調整脚をいっぱいまで締め込んでください。緩めたまま持ち運ぶと、脱落や紛失の恐れがあります。
- 落としたり衝撃を与えたりしないでください。また、使用後は必ず収納ケースに入れてください。
- 分解・改造をしないでください。性能や寿命を劣化させる原因にもなり、保証できなくなります。
- 長時間ご使用にならない場合は電池を取り外してください。

使用上のご注意

- 本製品は防塵・防水構造になっていますが、レーザー照射口に水滴・ホコリなどの付着、または結露があるとレーザーラインを正確に照射できなくなったり、受光器が正確に反応しない場合があります。柔らかい布などでキレイに拭き取り、本体を室温に馴染ませてからご使用ください。
- 電源スイッチはON/OFFまで確実に回してください。
- 直射日光のあたる場所や高温となる場所での長時間の使用は、レーザーの消費電力が過大となり、性能や寿命を著しく劣化させ、故障の原因となりますので使用しないでください。
- 受光器は受光距離範囲外または、レーザー墨出し器の電池が消耗していると誤作動を起こす可能性があります。
- 受光器の受光窓が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布などでキレイに拭き取ってからご使用ください。

■使用前の点検(精度確認)

- 横ライン(ろく)の点検
- ①振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を壁面から約3mの所に置き、水平出しを行います。
- ③電源スイッチをONにすると①モードの横ラインが照射されます。
- ④壁面に向けて照射し、横ラインの中心付近に合わせてマークを付けます。
- ⑤本体を回して、横ラインの高さとマークの位置にズレがないかを確認します。
- ⑥ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。
※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



- ①天井が2〜3m程度の高さで振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を壁面に約5mの所に置き、水平出しを行います。
- ③お手持ちの下げ振りを壁面近くの天井から吊り下げます。
- ④電源スイッチをONにし、上面パネルの**③**を押し、**③**モードの縦ラインを全て照射するパターンに設定します。
- ⑤縦ラインを壁面に向けて照射し、下げ振りの糸に合わせます。
- ⑥下げ振りの糸と縦ラインにズレがないかを確認します。
- ⑦ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。他の縦ラインについても同様の点検を行います。

※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



- ①天井が2～3m程度の高さで振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を床の上に置き、水平出しを行います。
- ③電源スイッチをONにし、上面パネルの③を押し、③モードの大矩を照射するパターン(21P, 11Pは天墨ポイントに照射するパターン)に設定します。
- ④地墨ポイントAと鉛直ポイントB(上部大矩のクロスした点、21P, 11Pは縦ラインと天墨ポイントが重なった点)にマークを付けます。
- ⑤本体を180°回転して地墨ポイントをマークAの位置に合わせます。
- ⑥回転後の鉛直ポイントとマークBとのズレが1mm以内であれば許容範囲内です。

※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



- ①できるだけ平らな場所で約8mの水糸を床に張りります。
- ②水糸の中心をマークAとし、マークAから両端に約3.5mの2箇所をマークB、マークCとします。
- ③本体を床の上に置き、水平出しを行います。
- ④電源スイッチをONにし、上面パネルの **㊟** を押し、 **㊟** モードの大矩を照射するパターンに設定します。
- ⑤地墨ポイントとマークA、正面縦ラインとマークBが重なるように設置します。
- ⑥左側縦ラインの3.5mの位置をマークDとします。
- ⑦本体を回転させて、左側縦ラインがマークCに重なるように設置します。
- ⑧正面縦ラインの3.5mの位置をマークEとし、マークDとマークEのズレが5mm以内であれば許容範囲内です。
- ⑨他の大矩についても同様の点検を行います。

※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



- ①できるだけ平らな場所で約8mの水糸を床に張ります。
- ②水糸の中心をマークAとし、マークAから両端に約3.5mの2箇所をマークB、マークCとします。
- ③本体を床の上に置き、水平出しを行います。
- ④電源スイッチをONにし、上面パネルの **③** を押し、 **③** モードの通り芯を照射するパターンに設定します。
- ⑤地墨ポイントとマークA、縦ラインとマークBが重なるように設置します。
- ⑥マークC側に照射されている縦ラインの位置(下図に示す位置)をマークDとし、マークCとマークDとのズレが1mm以内であれば許容範囲内です。
- ⑦他の通り芯についても同様の点検を行います。
※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です、
シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



-13-

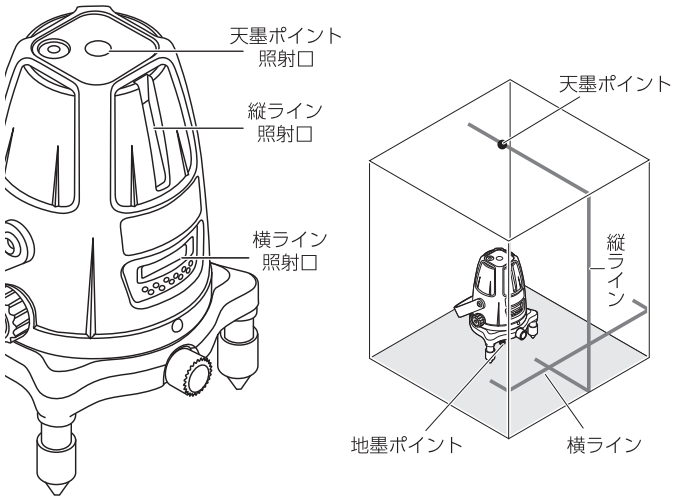
- ① モード
→横ライン
- ② モード
→正面縦ライン+横ライン+地墨
- ② フル照射モード（スイッチ長押し）
→縦ライン×4本+横ライン+地墨
- ③ モード
→縦ライン×4本+地墨

- ① モード
→横ライン
- ② モード
→正面縦ライン+横ライン+地墨
- ② フル照射モード (スイッチ長押し)
→縦ライン×3本+横ライン+地墨
- ③ モード
→縦ライン×3本+地墨

- ① モードⅠ
→横ライン
- ② モードⅡ
→正面縦ライン+横ライン+地墨
- ② フル照射モード（スイッチ長押し）
→縦ライン×2本+横ライン+地墨
- ③ モードⅢ
→縦ライン×2本(大炬)+地墨

■Neo 21P BRIGHT

縦・横・天墨・地墨 (品番 77355)



●上面パネル

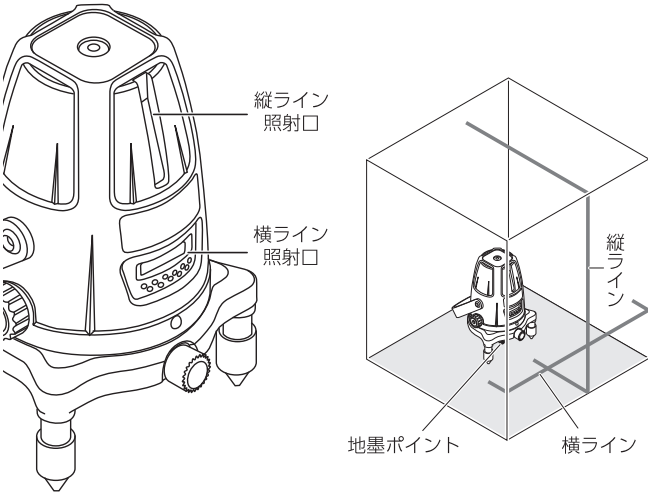


それぞれのスイッチを押すことで、レーザー照射モードを切り替えられます。

- ① モード
→横ライン
- ② モード
→正面縦ライン+横ライン+地墨
- ② フル照射モード (スイッチ長押し)
→正面縦ライン+横ライン+地墨+天墨
- ③ モード
→縦ライン+地墨+天墨

■Neo 21 BRIGHT

縦・横・地墨 (品番 77354)



●上面パネル

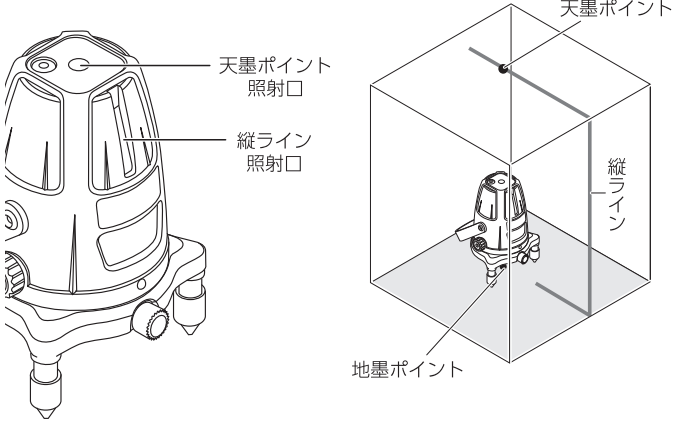


それぞれのスイッチを押すことで、レーザー照射モードを切り替えられます。

- ① モード
→横ライン
- ② モード
→正面縦ライン+横ライン+地墨
- ③ モード
→縦ライン+地墨

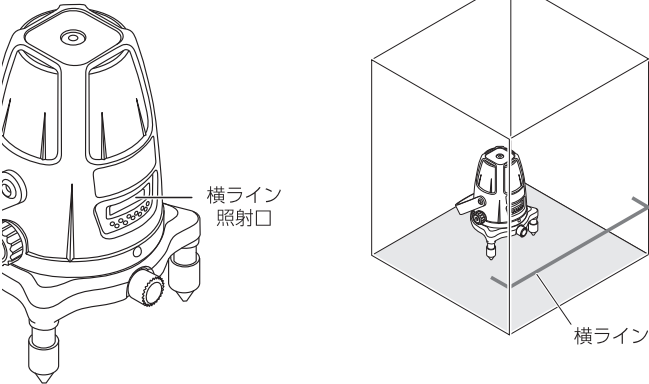
■Neo 11P BRIGHT

縦・天墨・地墨 (品番 77389)



■Neo 01 BRIGHT

横 (品番 77388)



■水平調整三脚アダプターの使い方

①水平調整三脚アダプターを三脚のネジに入れて回し、しっかり固定します。

②三脚を使用する場所、使用する高さにセットします。

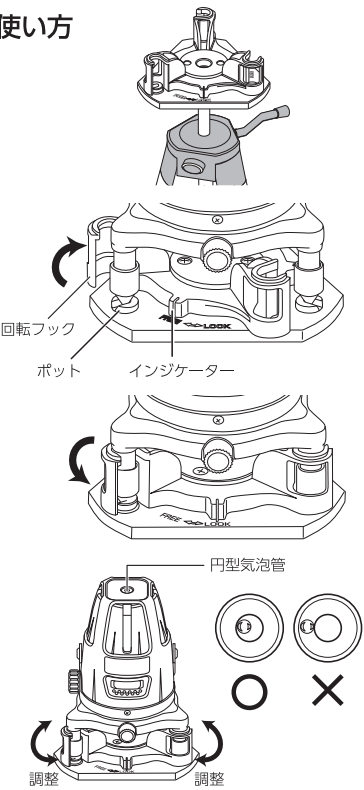
③水平調整三脚アダプターの回転フックを回転させ、インジケーターをFREEの位置に合わせます。

④ポットにレーザー墨出し器の脚を乗せます。

⑤水平調整三脚アダプターの回転フックを回転させ、インジケーターをLOCKの位置に合わせます。

⑥カチッという音がして、回転フックがレーザー墨出し器の脚を固定します。

⑦水平調整は、水平調整脚で行えます。円型気泡管の気泡が赤い円内に入るように水平調整脚で調整し、レーザー墨出し器の水平出しを行ってください。



⚠ 注意

ケガやレーザー墨出し器の故障の原因となります。

- 本体の固定は確実に行ってください。
- 三脚にセットしたままレーザー墨出し器を持ち上げないでください。
- 三脚は倒れないようにセットしてください。

●電池消耗警告機能

以下の場合には電池寿命ですので、単3アルカリ乾電池を4本同時に交換してください。

- ・レーザー光と円型気泡管の照明が弱くなった場合。(ある照射パターンでレーザー光が弱くなっても、よりレーザーラインの少ない本数の照射モードに切り替えるとしばらくお使いいただける場合があります。)
- ・電源スイッチON時に正面横ラインが点滅した場合。(点滅は約8秒間で止まります。しばらくはそのままお使いいただけます。)

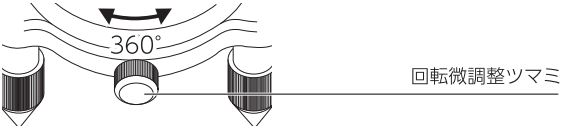
●受光器対応

別売の受光器 レーザーレシーバー II Plus ホルダー付を使用することで、受光距離約1.5～35mの範囲*での墨出しが可能になります。

※使用する作業環境、測定位置により異なります。20m以上の距離でも受光可能ですが、精度を保証するものではありません。

●回転微調整機構

回転微調整ツマミを回すことで、本体の角度を360°微調整できます。

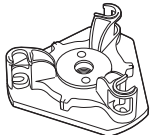


⚠ 警告

レーザー光が目に入ると視力低下・失明を起こす可能性があります。

- レーザー光を直接のぞきこまないでください。
- レーザーメガネをかけても、レーザー光を直接のぞきこまないでください。
- レーザー光を他の人に向けしないでください。
- レーザー光路は頭の高さを避けてください。

■付属品



品番 76768
●水平調整三脚アダプター
レーザーロボ Neo・E Sensor兼用



品番 82235
●アルミケース
レーザーロボ Neo・E Sensor兼用



●単3アルカリ乾電池 4本

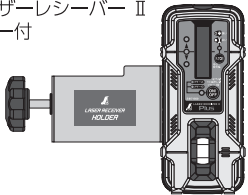


品番 76793
●レーザーメガネ

■別売品

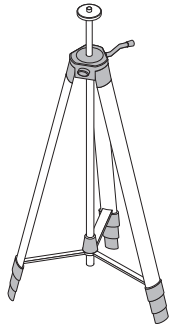
品番 71500

●受光器 レーザーレシーバー II Plus ホルダー付



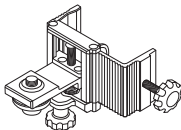
品番 76629

●三脚 ハンドル式エレベーター A 軽量タイプ



品番 76923

●軽天用ホルダー 上下可動式
レーザーロボ用



■仕様

品番	77362	77361	77360	77355	77354	77389	77388	
品名	Neo 51 BRIGHT	Neo 41 BRIGHT	Neo 31 BRIGHT	Neo 21P BRIGHT	Neo 21 BRIGHT	Neo 11P BRIGHT	Neo 01 BRIGHT	
光源	可視半導体レーザー							
出力	1mW以下 (JISクラス2)							
波長	635nm、下部スロット650nm						635nm	
指示精度	縦・横ライン 7.5mで±1mm					縦ライン 7.5mで±1mm	横ライン 7.5mで±1mm	
鉛直点精度	3mで±1mm				—	3mで±1mm	—	
直角精度	90°で±0.03°			—				
通り芯精度	7.5mで±1mm		—					
縦ライン出射角	約130°					—		
横ライン出射角	約120°					—	約120°	
ライン光幅	5mで約1.5mm (7.5mで約2mm)							
自動補正範囲	±2.5°							
傾斜時警告	自動補正範囲を超えるとレーザー光が点滅 (約1秒間隔)							
回転微調整範囲	360°							
制動方式	振り子+磁気ダンパー方式							
電源	単3アルカリ乾電池4本							
※2 可連続 使用時間	①モード	横：約58時間※1					約37時間 (切替スイッチなし)	約58時間 (切替スイッチなし)
	②モード	正面縦横+地墨：約24時間					—	
	②フル照射モード (長押し)	約8時間	約12時間	約16時間	約24時間	—		
	③モード	全縦+地墨:約12時間	全縦+地墨:約16時間	大矩+地墨:約25時間	縦+天墨+地墨:約37時間	縦+地墨:約42時間	—	
電池消耗警告	スイッチON時にレーザー光が約8秒間点滅 (約0.5秒間隔)							
最大到達距離	約35m (受光器使用時) ※3							
防塵・防水構造	保護等級IP54 ※4							
本体サイズ	直径128mm×高さ180mm (ボディ部φ94mm)							
製品質量	約1,215g (電池含)	約1,210g (電池含)	約1,200g (電池含)	約1,195g (電池含)	約1,190g (電池含)	約1,150g (電池含)	約1,140g (電池含)	
三脚取付ネジ	5/8インチ							

※1 電源スイッチをONにすると自動的に③モードの横ラインになります。※2 20℃の環境で新品の単3アルカリ乾電池を使用した場合です。※3 使用する作業環境、測定位置により異なります。20m以上の距離でも受光可能ですが、精度を保証するものではありません。※4 防塵性能:粉塵が内部に侵入することを防止する。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しない。防水性能:いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けない。